

令和 2年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野金剛霊殿

指定管理者名：富士建設工業株式会社

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	B	B
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	140,000	82,209	57,791	96,791	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	52,433,000	52,433,000	0	54,877,140	
	その他収入	0	0	0	0	
	収入総額	52,573,000	52,515,209	57,791	54,973,931	
支出	人件費	18,739,000	21,816,920	(3,077,920)	23,331,100	
	事務費	1,607,000	927,543	679,457	1,660,882	
	管理費	16,669,000	13,728,290	2,940,710	13,420,350	
	自主事業経費	182,000	27,250	154,750	51,983	
	光熱水費	14,462,000	14,365,317	96,683	13,846,142	
	リース料	914,000	913,128	872	905,952	
	その他	0	0	0	0	
	支出総額	52,573,000	51,778,448	794,552	53,216,409	
収支差額	0	736,761	(736,761)	1,757,522		

3. 総合評価

自己評価

本年度も受入業務や火葬業務において、特に大きな事故もない1年でした。また、火葬技術を尚一層向上させ、少しでも省エネに繋がるよう心掛けました。ただ本年度からは通常の業務とは違い、新型コロナウイルス感染者の対応も行いました。河内長野市役所様と連携を取り、感染拡大に気をつけながら今後もサービスの向上に努めて参ります。

市の評価

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、斎場としても万全の受入体制を構築する必要がありました。そのような中で本市と協力しながら、必要な対応を検討し、葬祭事業者への周知についても適切に行っていただきました。また、防護服、消毒液等の必要な物品の準備も迅速に行っていただきました。これらによって必要な受入体制を構築することができました。また、市営斎場の運営に係る経費のうち、大きな割合を占める光熱水費の節減に向けた検討を行い、令和3年度より電力会社の切り替えに至ったことは経費削減の観点から評価できます。

なお、職員の接遇に関しても、利用者アンケート等の結果から概ね好評をいただいています。